

2021年3月19日

報道関係各位

### アストラゼネカの新型コロナウイルスワクチンの製剤化開始に関するお知らせ

KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里敏秋、以下「KMバイオロジクス」）は、アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：ステファン・ヴォックス ストラム、以下「アストラゼネカ」）が国内で製造販売承認申請中の新型コロナウイルスワクチン AZD1222（以下AZワクチン）の製剤化を開始しましたのでお知らせします。

KMバイオロジクスは、2021年2月にアストラゼネカと締結したAZワクチンの製造委受託契約に基づき、アストラゼネカから供給されるワクチン原液を製剤化（バイアル充填・包装）します。製剤化については、「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業」で整備した合志事業所（熊本県合志市）の設備を活用します。

なお、AZワクチンの保管・配送等は、Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji Seika ファルマ」）が担当します。

明治ホールディングス傘下のKMバイオロジクスとMeiji Seika ファルマは、国民の皆様にも一刻も早くAZワクチンをお届けするため尽力してまいります。

併せて、新型コロナウイルス感染症の早期終息に向けKMバイオロジクスが現在進めている不活化ワクチンKD-414の開発も加速し、国産ワクチンの安定供給と新型コロナウイルス感染症の制御に貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

KMバイオロジクス株式会社

経営企画部 広報課 TEL：096-344-1385